

商品名 メキシレチン塩酸塩カプセル100mg「日医工」 医薬品基本情報

薬効	2129 その他の不整脈用剤	一般名	メキシレチン塩酸塩100mgカプセル
英名	Mexiletine hydrochloride	剤型	カプセル
薬価	6.60	規格	100mg 1カプセル
メーカー	日医工	毒劇区分	(劇)

メキシレチン塩酸塩カプセル100mg「日医工」の効能・効果

頻脈性不整脈<心室性>、糖尿病性神経障害の(しびれ感、自発痛、自覚症状)の改善

メキシレチン塩酸塩カプセル100mg「日医工」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、重篤な刺激伝導障害、ペースメーカー未使用の2～3度房室ブロック	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 重篤な心不全	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
3. 心筋梗塞、心筋症、弁膜症、基礎心疾患、脚ブロック、軽度刺激伝導障害、不完全房室ブロック、著明な洞性徐脈、重篤な肝障害、重篤な腎障害、心不全、低血圧、パーキンソン症候群、血清カリウム低下、抗不整脈薬による治療中、抗不整脈薬との併用	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
4. 基礎心疾患があり心不全又はその恐れ・疑い、心筋梗塞があり心不全又はその恐れ・疑い、心筋症があり心不全又はその恐れ・疑い、弁膜症があり心不全又はその恐れ・疑い、心不全、一時的ペースリング中、恒久的ペースメーカー使用中、ICD使用中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

メキシレチン塩酸塩カプセル100mg「日医工」の副作用等

1. 中毒性表皮壊死症、Lyell症候群、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、紅皮症、紅斑、水疱、糜爛、結膜炎、口内炎、発熱、過敏症候群、発疹、リンパ節腫脹、肝機能障害、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現、遅発性の重篤な過敏症状、1型糖尿病、ケトアシドーシス、心室頻拍、Torsades de Pointes、房室ブロック、腎不全、幻覚、錯乱、AST上昇、GOT上昇、ALT上昇、GPT上昇、γ-GTP上昇、黄疸、間質性肺炎、好酸球性肺炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2. 心停止、心室細動、失神、洞房ブロック、徐脈	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 動悸、徐脈、起立時眩暈、QRS延長、血圧上昇、浮腫、胸部圧迫感、心房細動、低血圧、悪心、嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃部不快感、腹部不快感、口渇、便秘、下痢、腹部膨満感、消化不良、腹痛、嚥下障害、口唇炎、舌炎、胃痛、食道炎、食道潰瘍、振戦、眩暈、しびれ感、眠気、頭痛、不眠、耳鳴、眼振、いらいら感、複視、発汗、意識障害、痙攣、譫妄、構音障害、過敏症、そう痒感、全身発疹、発熱、蕁麻疹、紅斑、多形紅斑、多形滲出性紅斑、尿ウロビリノゲン上昇、BUN上昇、クレアチニン上昇、腎機能障害、白血球数異常、赤血球減少、血色素量減少、ヘマトクリット減少、血小板数異常、好酸球増多、リンパ球減少、好中球増多、顆粒球減少、排尿困難、尿閉、尿失禁、咽頭違和感、苦味、倦怠感、咳、足のこわばり、血清カリウム上昇、総コレステロール上昇、脱力感、ほてり、味覚異常	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. PQ延長、QRS幅増大、QT延長、徐脈、血圧低下	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
5. 心室頻拍、心室細動	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
6. 異常	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 心停止、心機能抑制、催不整脈作用、不整脈、頭がボーとする、眩暈、しびれ、精神神経系症状、悪心、眠気、徐脈、低血圧、痙攣、錯乱、知覚異常、重篤な徐脈、重篤な低血圧、食道潰瘍、過敏症状が再発	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

メキシレチン塩酸塩カプセル100mg「日医工」の相互作用

1. 薬剤名等：抗不整脈薬との併用			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	慎重投与
2. 薬剤名等：テルフェナジン			
発現事象	他の抗不整脈薬＜リン酸ジソピラミド＞でQT延長、他の抗不整脈薬＜リン酸ジソピラミド＞で心室性不整脈	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意
3. 薬剤名等：リドカイン			
発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	両剤の陰性変力作用と変伝導作用が相加的又は相乗的に増強	指示	注意
4. 薬剤名等：プロカインアミド			

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	両剤の陰性変力作用と変伝導作用が相加的又は相乗的に増強	指示	注意

5. 薬剤名等：キニジン

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	両剤の陰性変力作用と変伝導作用が相加的又は相乗的に増強	指示	注意

6. 薬剤名等：アプリンジン

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	両剤の陰性変力作用と変伝導作用が相加的又は相乗的に増強	指示	注意

7. 薬剤名等：カルシウム拮抗剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	両剤の陰性変力作用と変伝導作用が相加的又は相乗的に増強	指示	注意

8. 薬剤名等： β 受容体遮断剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	両剤の陰性変力作用と変伝導作用が相加的又は相乗的に増強	指示	注意

9. 薬剤名等：アミオダロン

発現事象	Torsades de Pointes	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

10. 薬剤名等：胃排出能を抑制する薬剤

発現事象	本剤の吸収が遅延	投与条件	-
理由・原因	モルヒネ等により胃の運動が低下し、胃内容排出時間が延長	指示	注意

11. 薬剤名等：チトクロームP-450系のCYP1A2及び2D6に影響を与える薬剤

発現事象	本剤の血中濃度に影響	投与条件	-
理由・原因	チトクロームP-450（CYP1A2、2D6）による本剤の代謝が影響を受ける	指示	注意

12. 薬剤名等：シメチジン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	シメチジンによりチトクロームP-450の薬物代謝が阻害	指示	注意

13. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝が促進	指示	注意

14. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝が促進	指示	注意

15. 薬剤名等：テオフィリン

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤はテオフィリンに比べ、チトクロームP-450への親和性が強く、テオフィリンの代謝が抑制	指示	注意

16. 薬剤名等：尿のpHをアルカリ化させる薬剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	アルカリ性尿は、本剤の腎排泄を抑制	指示	注意

17. 薬剤名等：尿のpHを酸性化させる薬剤

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	酸性尿は、本剤の腎排泄を促進	指示	注意

